



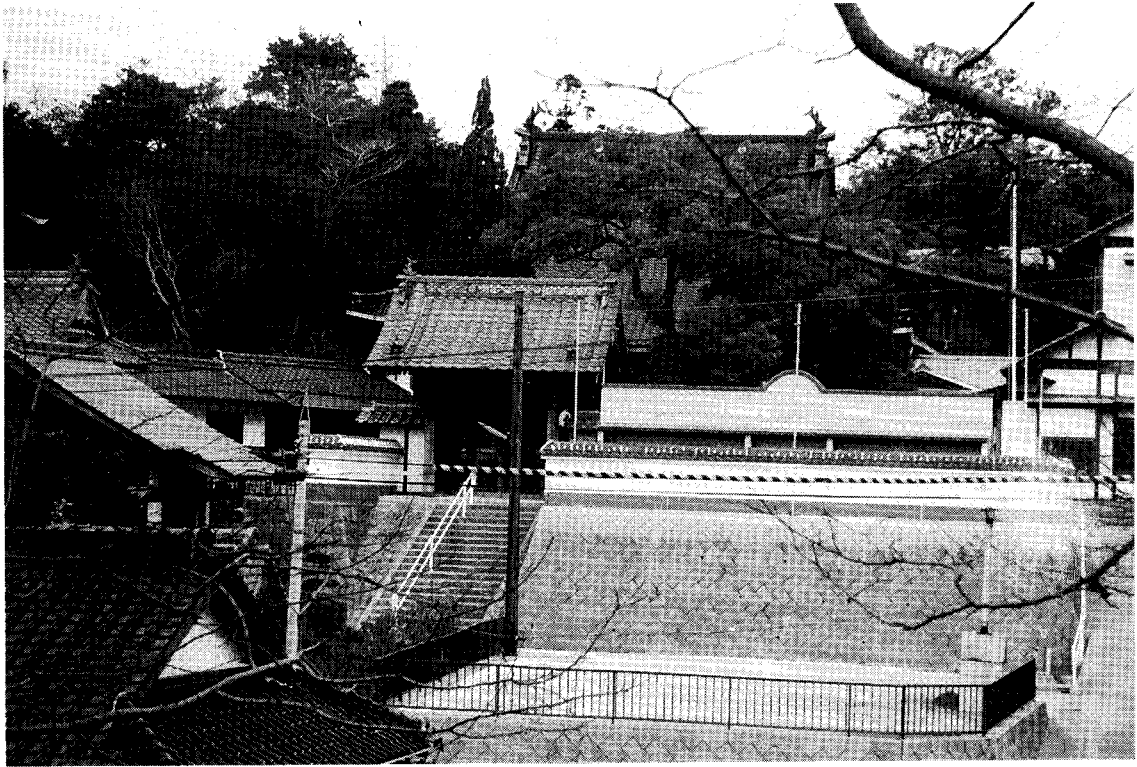
海性山 西岸寺 (総香寺)

西岸寺には檀家はなく都野津の総香寺になっている。



説教所 (浄光寺会館)

以前は、町民の集会所として利用されていたが、現在は、浄光寺の管理となっている。



### 高木山白梅院 西方寺

明治8年12月に跡市より町民の懇願により引寺す。

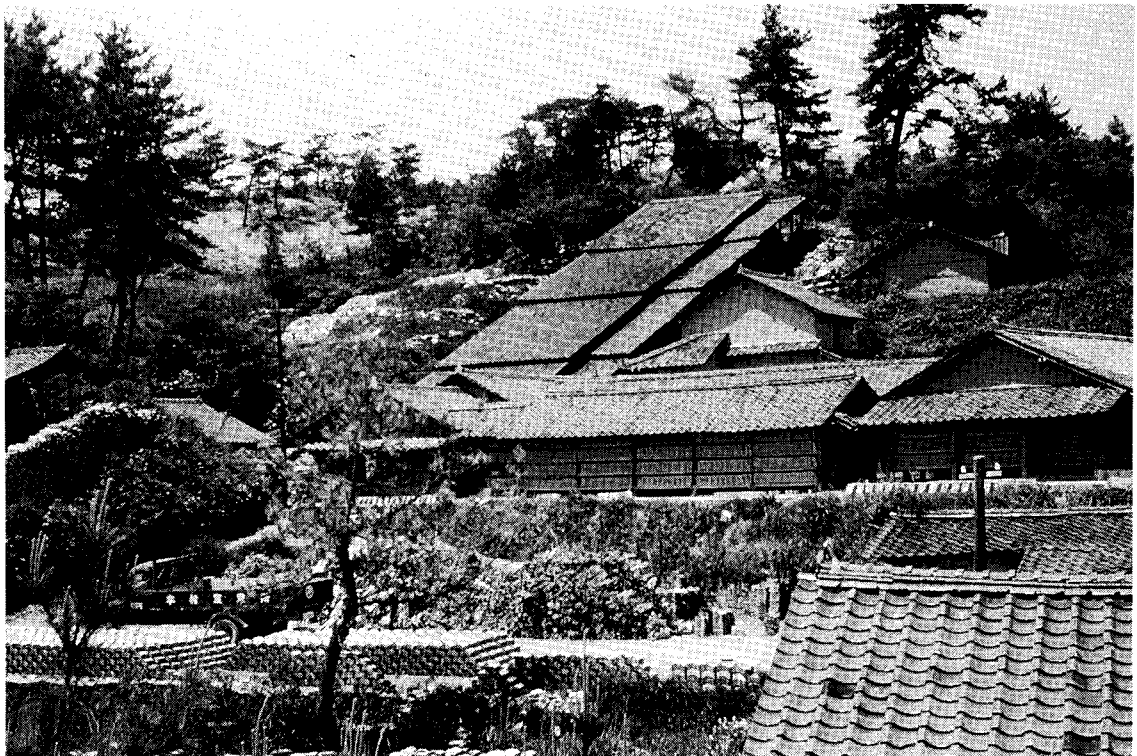


### 招 魂 殿

昭和9年12月～昭和22年10月建物  
在郷軍人会の発起により、軍人・軍属の殉難者を祭るため、尋常高等小学校跡地（現在の8町内）に建立、現在は大年神社境内に遷座されています。



赤瓦の町並  
昭和34年当時のものです。



今では見られなくなった登り窯



## 半 田 浜

高角山を望む

半田浜台地には、集落を風や砂から守るため黒松が植っていたが  
現在はほとんど昔の面影は見られない。



## 角 の 浦

大崎鼻より

石見の海 角の浦廻を浦なしと 人こそ見らめ 瀉なしと 人こそ見らめ  
よしえやし…と柿本人麻呂が詠んだ角の浦（都野津の海岸）



大正11年頃の新町通り  
現在の郵便局通り



戦後の新町通り乗り合いバス  
昭和3年、都野津、跡市間のバス営業が始まった。



都野津町議会風景（大正11年4月～昭和29年施行）  
現在のつのづ会館2階。



町制施行・鉄道開通30周年記念行事 情景



### 在りし日の人麿の松（柿本神社）

昭和44年5月23日、県の天然記念物に指定。  
平成9年1月17日松枯死のため斧入式が執り行なわれました。



### 大 年 神 社

大正11年頃の境内です。

## あとがき

都野津公民館・文化教養部主導で都野津今昔写真集を発刊いたしました。

幼いころ雪の日にはスキーで、節句には重箱を抱えて半田浜の砂山で遊んだ思い出はございませんか。今では、その半田浜も当時の面影はなくなりました。

このように、時の流れと共に変貌していく都野津の自然や、家屋の形態・産業の推移・又生活様式などを今一度見直して、次世代に伝えることが私たちの責務ではないかと思えます。

こうした一連の作業が、郷土文化への啓発の糸口になることを願い、目で見ると町の今昔写真集の第一弾を発刊した次第でございます。

何分にも、限られた予算内での作製で出来上がった物は粗製のかぎりでございますが、出来るものなら第二弾の発刊に向けての努力を惜しまないものでございます。

尚、この写真集発刊にあたりまして、快く協力をして下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

2000年6月 ふる里を知る会  
代表 佐々木セイ子